

紙資源が豊富な「紙のまち」富士市にあるからこそ、紙を用いて様々な表現遊びを楽しみたい…

園内には、地域の会社から頂いた紙が豊富にあります。様々な紙を使った遊びを楽しみながら、紙の特徴や質感の違いの面白さに気づいたり、創造力を働かせて作る楽しさを存分に味わったりできるように、日々、教師が教材研究をしながら、保育の中に取り入れています。

遊びの中で出てくる「なぜなんだろう？」「どうしてなんだろう？」を大事にしたい…

一つのことじくりに取り組み、繰り返し遊ぶ中で、子どもから出た気づきや、素朴な疑問を大切にしています。身近な環境や地域の様子、異年齢や周囲の人々とのかかわりなど、社会とのつながりの「芽」を丁寧に育てています。

体験を通して、「自ら選択し、選び取る力」を育てたい…

現在は、環境破壊や地球温暖化、人権問題など、地球規模で多岐にわたる問題が山積みです。そんな中、様々な市町や団体、企業がSDGsの取り組みに目を向け、動き出しています。富士市も2020年7月に、「SDGs 未来都市」に選定されました。

これからの将来を担う今の子どもたちが、よりよい社会になるような選択や、目先のことだけでなく、将来のことまで考え、選び取る力が持てるような人材に育ててほしいと願っています。幼児期からの遊びの中で、身近な社会のしくみや生態系に触れ、「地球に優しい」ことをたくさんみつけていけるように、考えたり、話し合ったり、教師も一緒に探求しています。

田子浦幼稚園

で取り組んでいる



SDGs ってどんなこと？

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、世界を変えるための17の目標です。

田子浦幼稚園では、4「質の高い教育をみんなに」を目標に掲げ、身近な遊びを通して、持続可能な社会の作り手の育成を目指しています。



4 質の高い教育をみんなに



12 つくる責任 つかう責任



富士市立田子浦幼稚園

〒416-0939 富士市川成島 138-1

TEL 0545-61-2154

FAX 0545-61-2289



E-MAIL k-tagoura@div.city.fuji.shizuoka.jp



園内の紙・プラスチックゴミを子どもたちが回収しています。

年長児は、紙を使って遊ぶだけでなく、リサイクルゴミを集めるために各保育室を回っています。リサイクルについての関心が高まり、「今日はゴミが少ないね。」とゴミの量に気づく子や、「僕たちが集めたゴミはどうなるの?」という素朴な疑問をもつ子が出てきます。

「どうしてリサイクルするの?」

「紙は、最初は木から作っているんだよ。木をたくさん切ったら、住む場所がなくなっちゃう動物がいるんだ。」静岡大学教育学部の協力を得て、SDGs デジタル絵本を観て、どうしてあげたらよいか考える場もできました。

日々の「体験」から感じ取った思いを次の活動につなげていけるように、私たち教師も一緒になって考えます。すぐに答えを「教える」のではなく、小さな疑問を大切にしていくことで、「自分ごと」として考えるきっかけを作ります。

かみす
紙漉き遊びから、リサイクルのヒントを見つけました。

様々な紙を使った遊びの一つとして、紙漉きをしました。繰り返し遊んでいた年長児は、「本当に紙はリサイクルできるの?」という疑問の答えを見つけるために、自分たちが捨てた紙からも、紙づくりをすることになりました。「試してみよう! やってみよう!」の気持ちが遊びの中から自然と湧き出ます。



カレンダー、段ボール、空き箱、いろいろな紙で実験しました。



保護者・地域の人々の力を借りながら、子どもの「何故?」「どうして?」に近づいていけるようにしています。

3学期にゴミを集める仕事を引きついただばかりの年中児もさっそく疑問を持ちました。「集めたゴミはどうなるのかな?」膨らんだ疑問の答えを知っている人を探すことから始まりました。先生や保護者に聞いて回る子どもたち…。保護者、地域の方のご協力を得ることができ、「リサイクル講座」を開くことになりました。間近で見るとパッカー車の大きさやしくみに驚き、次の日からは、空き箱でパッカー車を作る遊びが盛り上がりました。体験から遊びがさらに広がっていきます。

これらはほんの一例です。「環境を通して行う」幼児期の生活の中で、「地球に優しい子」に育ててほしいと願い、日々、生活しています。